



令和4年3月22日

九州地方整備局 港湾空港部

北九州市 港湾空港局

船舶燃料として環境負荷の小さいLNG（液化天然ガス）の供給を行う拠点の形成に向けて

～第1回「九州におけるLNGバンカリング*拠点整備方策検討会」の開催～

※LNGバンカリング：船舶燃料としてLNG（液化天然ガス）の供給を行うこと

3月24日に、九州地方整備局と北九州市が共同で、新たに「九州におけるLNGバンカリング拠点整備方策検討会」の第1回検討会を開催します。

船舶の国際的な環境規制により、環境負荷の小さいLNG燃料船やLNGバンカー船（燃料供給船）の導入が世界的に増加している中、国土交通省港湾局では、我が国港湾の国際競争力を強化するため、LNGバンカリング拠点の形成に必要となる施設整備への支援を行ってきました。

九州においては、北九州港で温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けて、企業、国、市からなる北九州港CNP検討会を立ち上げ、「北九州港CNP形成計画（素案）」を策定しておりますが、温室効果ガス削減の具体的な取り組みの1つとして、企業（構成員）から北九州港を活用したLNGバンカリング拠点の形成が提案されています。

こうした取り組みを加速するため、九州地方整備局と北九州市が共同で「九州におけるLNGバンカリング拠点整備方策検討会」を設置し、北九州港をはじめとした九州管内におけるLNGバンカリングの実施上の課題やその対応方策等の検討を行います。

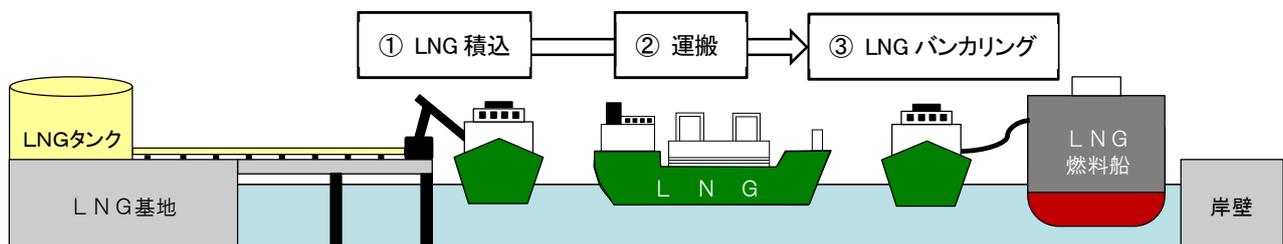
○日時：令和4年3月24日（木）14:30～16:00

○場所：旧大連航路上屋 2Fホール（北九州市門司区西海岸1-3-5）

○議題：九州におけるLNGバンカリング拠点整備方策検討会の進め方について等（別紙1）

○構成員名簿：別紙2のとおり

（LNGバンカリングのイメージ）※Ship to Ship方式の例



○その他

- ・会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶（議事開始前）まで傍聴及び撮影が可能です。
- ・会場ではマスクをご着用いただくなど、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 クルーズ振興・港湾物流企画室 くわはた 栗畑（室長）、金澤（課長補佐）
（直通）092-418-3379（FAX）092-418-3037

北九州市 港湾空港局 計画課 井上（課長）、麻生（係長）
（直通）093-321-5967、（FAX）093-321-5915

第1回 九州におけるLNGバンカリング拠点整備方策検討会 議事次第

日 時 : 令和4年3月24日(木) 14:30~16:00

場 所 : 旧大連航路上屋 2Fホール <WEB併用>
(北九州市門司区西海岸1丁目3-5)

1. 開 会

2. 議 事

2-1. 検討会の進め方について

2-2. 行政の取組状況

- ・LNGバンカリング拠点の形成について
- ・次世代船舶の開発の取組について
- ・北九州港CNP形成の取組について

2-3. 民間企業の取組状況

- ・LNGバンカリングに関する取組状況について

2-4. 意見交換会

3. 閉 会

第 1 回 九州における LNG バンカリング拠点整備方策検討会
構成員名簿

(構成員)

第七管区海上保安本部交通部

九州運輸局海事振興部

九州地方整備局港湾空港部

北九州市港湾空港局港営部

北九州市港湾空港局港湾整備部

(オブザーバー)

九州電力株式会社

日本郵船株式会社

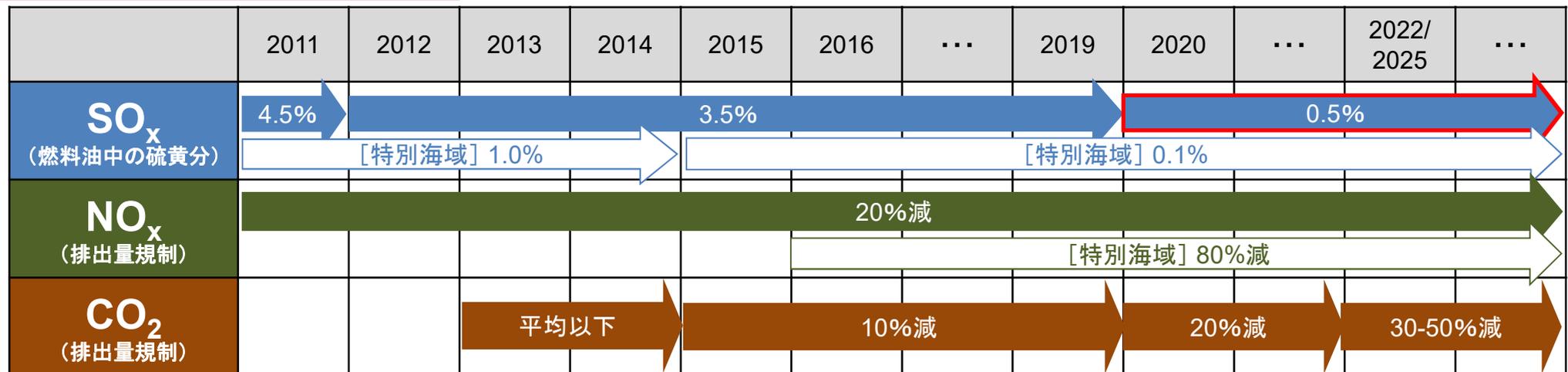
伊藤忠エネクス株式会社

西部ガス株式会社

船舶の国際的な環境規制

- IMO(国際海事機関)において船舶からの排出ガスについて国際的な環境規制が導入されており、特に、北米及び北欧等において環境規制がより強化された特別海域が設定されている。
- 2020年1月から、硫黄酸化物(SO_x)について一般海域の規制が開始されている。

国際的な船舶の排出ガス規制



特別海域

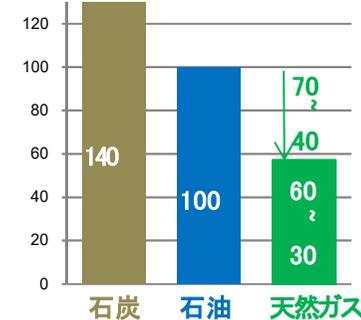


LNGの環境優位性

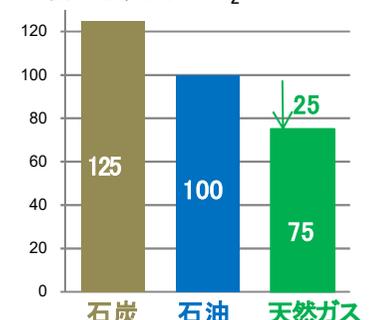
硫黄酸化物(SO_x)



窒素酸化物(NO_x)



二酸化炭素(CO₂)



北九州港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会

○ 北九州港において、水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを旨、「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成するために、CNP検討会を開催した。(3回開催)

北九州港CNP検討会

日時：第1回：令和3年 6月28日（月）
第2回：令和3年10月25日（月）
第3回：令和4年 1月28日（金）

構成員：株式会社IHI、伊藤忠商事株式会社、岩谷産業株式会社、ENEOS株式会社、川崎重工業株式会社、株式会社北九州パワー、九州電力株式会社、九電みらいエナジー株式会社、西部ガス株式会社、シーメンス・エナジー株式会社、ジャパン hidro株式会社、株式会社商船三井、商船三井テクノトレード株式会社、大陽日酸株式会社、電源開発株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、日本コークス工業株式会社、株式会社日本政策投資銀行、日本製鉄株式会社、ひびき灘開発株式会社、福岡酸素株式会社、株式会社ブリヂストン、株式会社北拓、三井物産株式会社、三菱ケミカル株式会社、安川オートメーション・ドライブ株式会社

事務局：九州地方整備局港湾空港部
北九州市港湾空港局、北九州市環境局

北九州港CNP検討会 (R3. 6. 28)



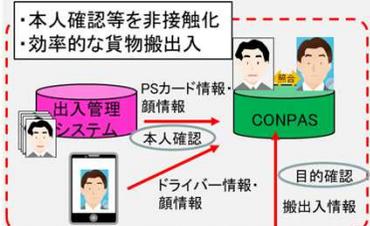
脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化(イメージ)

○ 世界的な脱炭素化への動きや政府方針等を踏まえ、我が国の輸出入の99.6%を取り扱い、CO2排出量の約6割を占める産業の多くが立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献していく。

港湾・物流の高度化

セキュリティを確保した「非接触型」のデジタル物流システムの構築

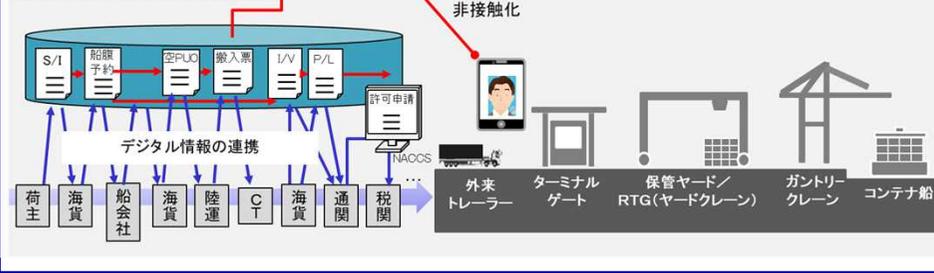
セキュリティを確保した「非接触型」のデジタル物流システム



CONPAS及び遠隔操作RTGの導入(横浜港)

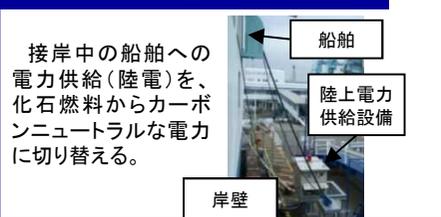


Cyber Port(手続の電子化)



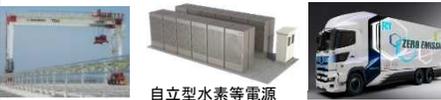
ゲート前作業の非接触化

船舶への陸上電力供給の推進



水素等の活用の検討

港湾荷役機械等への燃料電池導入、カーボンニュートラルな電力の活用等に取り組む。



LNGパンカリング拠点の形成



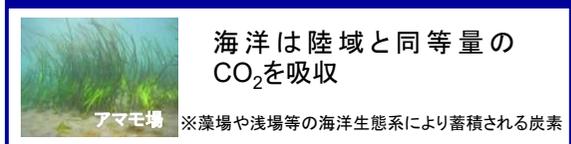
港湾を経由した水素・アンモニア等の利活用(製造・輸送・貯蔵・利用等)(イメージ)

※企業による水素・アンモニア等の利活用の例



港湾・空間の高度化

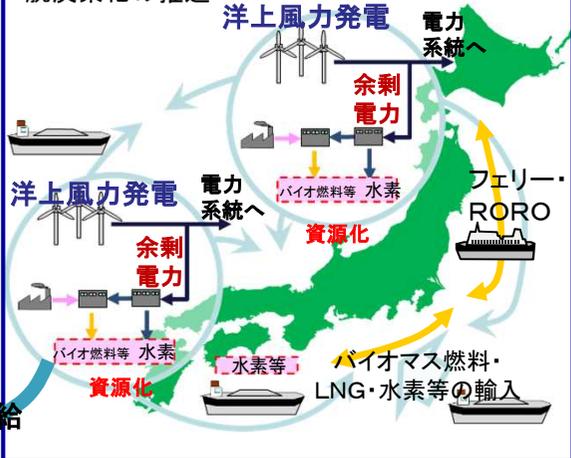
ブルーカーボン(※)生態系の活用可能性の検討



洋上風力発電の導入・脱炭素化の推進(イメージ)



国内海上輸送ネットワークを活用した脱炭素化の推進



カーボンニュートラルの実現に貢献